

10/13 未来創生本部有識者会議との意見交換 場所：玉村町役場



活発な意見交換が行われた有識者会議

総合戦略の効果を検証

12月11日、12月定例会最終日の全員協議会において、4月から策定を進めていた玉村町版「地方創生総合戦略」が町長から議会に公表されました。

これは、玉村町版総合戦略の策定を諮問していた有識者会議からの答申を受け、「たまむらの未来創生本部（本部長・町長）」が策定したもので、この中には10月13日に開催された有識者会議と町議会議員との意見交換会の内容も盛り込まれています。

今後町長は、この総合戦略をもとに玉村町の未来創生に向けて、様々な取り組みを進めていくこととなります。議会はこの計画が予定どおり推進され、地方創生の十分な効果をもたらされているか注視していきます。

10/15～10/16 広報視察研修 場所：岩手県利府町・大和町



手に取りたくなる「議会だより」

議会だよりの編集方法を学ぶ

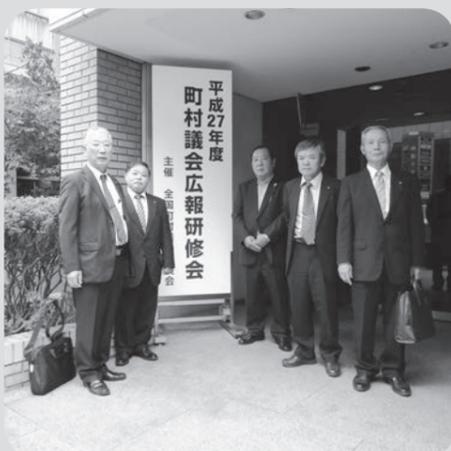
10月15日～16日、岩手県利府町議会と同県大和町議会を視察し、議会だよりの編集方法を研修しました。

「りふ議会だより」は、「審議の結果だけでなく、経過と内容を分かりやすく正確に伝えること」、や「中学生・高校生や大人に対する「社会教育」の材料となり得るものにする」とを編集方針に作成されていました。

「たいわ町議会だより」は全ページフルカラー、平均27ページで作成され、見出しや余白も効果的に使用されており、記事の読みやすさにも工夫がされています。

両議会だよりも、全国の議会広報コンクールで数多く表彰され、編集技術は高く評価されています。今回の視察で学んだことを、今後の議会だより編集に生かしていきたいと思えます。

10/20～10/21 全国町村議会広報研修会 場所：シェーンバッハ・サボー



議会だよりの編集方法を学びました

住民の皆さんとの懸け橋になる議会だよりに

10月20日～21日、東京で行われた全国町村議会広報研修会に参加しました。

1日目は、「伝える広報」から「伝わる広報」へ、「思わず手に取る、読みたくなる議会だよりを目指して」のテーマのもと、2人の講師から講義を受けました。

2日目は、平成26年度議会広報コンクールの優良議会広報クリニックが行われ、最優秀賞と優秀賞に輝いた議会だよりの講評が行われました。

議会だよりは、議会の活動を住民の皆さんに伝えるだけでなく、皆さんの声をくみ取る「広聴」機能を果たし、皆さんの懸け橋になることが大切であることを学びました。

地方創生とは

地域を見直すこと

10月30日、群馬県町村議会議員研修会が吉岡町文化センターで開催されました。

首都大学東京准教授の山下祐介氏による『地方消滅の罅』「増田レポート」と人口減少社会の正体」、弁護士で（株）法学館 伊藤塾 塾長の伊藤真氏による『日本国憲法の理念』と題した2講演を聞きました。

山下氏からは、「2040年までに全国の市町村の半数が消滅する可能性がある」とした日本創成会議の報告、通称「増田レポート」の実態についての解説がありました。人口減少対策には、東京一極集中の是正や自分たちの住む地域を見直すことが重要であることを実感しました。

伊藤氏からは、日本国憲法の三原則である「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義（戦争放棄）」や集団的自衛権、憲法改正等について講演がありました。日本国憲法の理念を理解することの重要性を再認識しました。

『住民に読まれ、議会活動が伝わる』

議会だよりに

議会広報特別委員会は、11月27日に群馬県町村議会議長会が主催する広報研修会に参加しました。

講師の広報コンサルタント芳野政明先生から、「住民に読まれ、議会活動が伝わる」ための議会広報のチェックポイントを学びました。

10月に議会の構成替えが行われ、新たな広報特別委員会がスタートしてから初めての研修だったため、議会だよりの発行目的やその重要性を再認識した研修となりました。

先生は、議会改革とは開かれた議会にすることで、「住民に見える議会にすること」や「住民の意見を聴く議会にすること」が重要だと話されていました。議会の活動や情報が住民の皆さんに「見える」、また「伝わる」議会だよりになるように、これからも積極的に勉強していきたいと思えます。

10/30 群馬県町村議会議員研修会 場所：吉岡町文化センター内



県内の町村議会議員が一堂に会した研修会

11/27 群馬県町村議会広報研修会 場所：群馬県市町村会館



議会だより編集の研修を受ける新広報特別委員